



**第143号**  
 宮城県亶理農業改良普及センター  
 〒989-2301  
 亶理郡亶理町逢隈中泉字本木9  
 TEL 0223-34-1141  
 FAX 0223-34-1143  
 E-mail wrnokai@pref.miyagi.lg.jp  
<https://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/>

一面に広がる長ねぎ畑  
 後方には今年設置されたいちごトレーニングセンター



きゅうり栽培支援の様子  
※撮影時のみマスクを外しています



## 競争力の高い園芸産地の確立に向けて

宮城県亶理農業改良普及センター 技術副参事兼総括次長 **櫻田 英子**

もうすぐ師走、今年1年を振り返ることが多くなる時期です。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響は大きかったものの、東京オリンピック等が開催されたり、感染対策を講じながら経済活動が少しずつ再開されたりと、少しずつですが、歩みを進め始める出来事がありました。

農業分野では、令和3年産米の概算金の大幅な引き下げという、非常に残念なニュースがありました。米は本県農業の基幹作物であり、米価の下落が農家経済に大きな影響を及ぼすことが懸念されるため、普及センターに「米価下落に伴う営農相談窓口」を設置しました。各種支援策やつなぎ資金、所得確保に向けた栽培品目選定等の相談対応により、営農継続等に不安を持たれる農業者の皆様へ寄り添った支援に努めてまいりたいと思います。

一方、今年からスタートした「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」では、目標の一つとして、園芸産出額を倍増することを掲げており、マーケッ

トインによる生産拡大と食品産業との戦略的な連携によるバリューチェーンの構築が進められています。

亶理・名取地域は、自他共に認める県内一の「えんげい王国」です。東北一の産地を誇るいちごやカーネーション、県内一のりんごやせりのほか、特産的なぶどうやいちじくなど、消費者がとても魅力的に感じる園芸作物が様々生産されています。加えて、女性農業者を中心に、加工品開発にも取り組んでいます。普及センターでは、今後とも、農業者の皆さんがこれらの産地育成で長年培ってきた技術に加えて、アグリテック\*の導入による労働生産性の高い水田農業や、食品産業との連携による園芸生産の拡大により、「儲かる農業」への転換が図られるよう、支援をしております。

\*アグリテック

農業にスマート農業技術を含むICT(情報通信技術)等の先進技術を導入することで省力・軽労化を図るなどの課題を解決すること。

地域  
の話題

## 巨理地域にて「シャインマスカット販売会」を開催

普及センターでは、シャインマスカット栽培技術の向上と省力化及び産地としてのイメージ定着を目的に、プロジェクト活動に取り組んでいます。

令和3年9月19日、巨理町内にある直売所「鳥の海ふれあい市場」を会場にして、巨理地域(巨理町、山元町)のシャインマスカット生産者(4名)と加工商品販売者(1名)による合同販売会を実施しました。

合同販売会は、昨年に引き続き2回目の開催になります。今年は、町や商工会等の関係機関と連携し、シャインマスカットを使った商品開発支援を行ったり、共通マークを作成し、産地をPRしました。当日は、新鮮なシャインマスカットや新商品の購入を目的に、たくさんのお客様が直売所を訪れました。

なお、今回作成したシャインマスカットの共通マーク(デザイン)は、巨理町・山元町の実証農家や、両町のシャインマスカットを原料として使った商品を販売する方の使用が可能ですので、皆様の販売促進活動に御活用ください。デザインデータの入手方法や利用時の注意点等の詳細については、普及センターまでお問い合わせください。

シャインマスカットの  
共通マーク

イベント開催風景

地域  
の話題

## カーネーションのIPM・産地表示販売検討会を開催

名取市花卉生産組合のカーネーション生産者は、化学合成農薬だけに頼らず天敵を活用する等、様々な技術を併用して病害虫の発生を抑制するIPM(総合的病害虫管理)と、消費者が産地名を認識して切り花を購入することができるよう、販売段階で産地名を表示する産地表示販売の実証に取り組んでいます。

普及センターでは、令和3年10月22日に、カーネーションIPM・産地表示販売検討会を名取市高柳集会所等で開催し、各テーマの今年度上半期の実証結果を生産者と関係機関で共有して、今後の取組に向けた意見交換を行いました。

IPMの現地検討では、普及センターによる天敵を用いたハダニ防除対策等の結果報告に加え、4名の実証農家から、取組内容や効果について説明をいただきました。また、産地表示販売の検討では、今後予定している産地紹介用のしおり作成や販売実証の計画についての検討を行いました。各テーマとも出席者から数多くの報告や意見があり、活発に情報交換が行われ、有意義な検討会になりました。

普及センターでは、今後も、新たな栽培管理技術や販売手法の導入に向けた支援を行っていきます。



IPM現地検討の様子



産地表示販売検討の様子

農業士  
の紹介

## 新農業士の紹介

宮城県では、地域農業の振興と農業後継者の育成に貢献する農業者を「農業士」として認定しています。令和3年度は、新たに巨理町の木口雅志さんを認定しました。

**【指導農業士】巨理町 木口雅志さん(きく、水稻)**

就農前に生花市場に勤務していた経験から、花きの流通に精通しており、市場が求める高品質のきくづくりを行っています。また、転作大豆栽培に取り組む等、地域の担い手として活躍しています。



地域  
の話題

## 今年も「乾田直播栽培勉強会」を開催

普及センターでは、水稲乾田直播栽培の技術向上を図るため、令和元年度から定期的に「直播栽培勉強会」を開催しています。勉強会では、播種作業や雑草・病虫害防除、施肥設計、収穫時期の判断など、生育ステージ毎の管理作業について、試験研究機関のアドバイスを交えて、参加者同士の情報交換を行っています。

今年度は、第1回を6月24日に、第2回を7月29日に、いずれも岩沼市の乾田直播栽培ほ場にて開催しました。今年度初めて乾田直播栽培に取り組んだ法人のほ場では、苦勞した点などについて話をしていただき、改善点を検討しました。

今後は、今年度の乾田直播栽培を振り返り、次年度以降の栽培管理について検討する「総合検討会」の開催を1月に予定しています。皆様の参加をお待ちしております。



乾田直播栽培勉強会（岩沼市）の様子

地域  
の話題

## 「みやぎ農業未来塾」を開催

当管内でいちごを栽培する新規就農者等を対象として、栽培管理技術の向上と新規就農者相互の交流推進を目的とした「みやぎ農業未来塾」を7月12日に開催しました。

当日は、20名を超える新規就農者等が参加し、(株)山元ヒルズファーム（山元町）では、カタツムリポットを使用した育苗管理技術について、太田農場（亶理町）では、廃材を使用した遮光資材の巻き上げ装置等の自作の設備について、視察研修を行いました。

視察先では、育苗管理や施設設備等に関する様々な質問が出されるとともに、参加者間でも活発な情報交換が行われました。

普及センターでは、引き続き、研修会の開催等により新規就農者の支援を行ってまいります。



研修会の様子

地域  
の話題

## いちご「普及センター通信」を毎月発行しています

令和元年に本格デビューした宮城県育成いちご新品種「にこにこベリー」は、本格デビューから3年となりました。管内での栽培面積は年々拡大しており、栽培技術の更なる向上が課題となっています。また管内のいちご生産者は、後継者への世代交代が進んでいることに加え、新規就農者も多いことから、普及センターでは毎月「普及センター通信」を発行し、いちご栽培の基礎について知っていただくことで、栽培技術の早期習得・向上を支援しています。

10月号の内容では、「にこにこベリー」、「とちおとめ」の第1腋花房分化状況について紹介し、今後重要となる初期の草勢管理、天敵利用についての説明を記載しています。

普及センター通信は、管内いちご生産者向けに、みやぎ亶理農業協同組合からの配布のほか、メールでも配布しています。配布ご希望の際は、普及センターまでお問い合わせください。



普及センター通信

## 令和3年度 宮城県農林産物・花き品評会の結果報告

令和3年10月23日(出)～24日(日)に、せんだい農業園芸センター(仙台市)で「宮城県農林産物・花き品評会」が開催され、当普及センター管内でも多くの方が入賞しました。おめでとうございます。受賞された方をはじめ、品評会に御協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

No.	部門	品目名	品種名	市町村	氏名(敬称略)	受賞
①	野菜	きゅうり	まりん	名取市	吉田 智明	宮城県知事賞(2等)
②	野菜	パプリカ	ナガノ	山元町	齋藤 一雄	宮城県知事賞(3等)
③	花	カーネーション	ラグジュアライトピンク	名取市	太田 伸也	金賞 宮城県園芸協会会長理事賞 仙台生花株式会社代表取締役社長賞
④	花	ひまわり	ビンセント(2型) タンジェリン	名取市	前野 一明	銀賞
⑤	花	ジニア	ジャイアントワイン	名取市	三浦 愛	銀賞



## 収入保険のご案内

収入保険は、全ての農産物を対象として、様々なリスク(自然災害、市場価格下落、災害、けがや病気等)による収入減少を補填する制度です。加入できる方は、青色申告を行っている農業者(個人・法人)で、対象収入は、農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体となります。

また、保険期間中に災害等で保険金の受け取りが見込まれる場合は、当座の資金としてつなぎ融資(無利子)を受けることができます。申込み期限がありますので、詳しい内容はNOSAI宮城亘理名取支所(電話 0223-34-5031)へお早めにお問い合わせください。

## お知らせ

## 亘理地域における栽培技術情報について

普及センターでは、各品目の栽培技術情報紙を発行しています。品目は水稻、大豆及び麦、いちご、りんご、カーネーション、酪農(牛群検定)です(発行頻度等は品目によって異なります)。

管内の栽培状況を踏まえた内容となっておりますので、ご興味のある方は、普及センターまでご連絡いただくか、ホームページにも掲載している情報紙もあるので、参考にしてください。

・HPアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/>

## 「米価下落に伴う営農相談窓口」の設置

令和3年産米の概算金下落に伴う「各種支援策」や「つなぎ資金」の紹介、所得確保に向けた栽培品目選定、低コスト技術の導入等、営農継続に向けた相談に対応いたします。

- ・受付時間：8:30～17:15(土日を除く)
- ・電話番号：0223-34-1141(亘理農業改良普及センター)